



テーマ 「ODA事業を知る」
視察先 デリーメトロ、
 アグラ上水道整備事業
 丸新志鷹建設株式会社 (立山町)
 常務取締役 穴口 義記 さん

日本のODAによる資金援助で、日本のゼネコンが日本の技術で建設したデリーメトロに体験乗車して、その素晴らしさを実感し、デリー市内ではその技術を受け継いだインドの建設会社がメトロ伸長工事を施工していました。
 アグラの浄水場では上流部は下水処理、下流部は本来の浄水施設としたヤムナ川の汚染水を飲料水に変える日本の技術を知ることができました。

テーマ 「インド進出の可能性、海外事業の展望」
 玉田工業株式会社 (金沢市) 専務取締役 玉田 善久 さん

当社は2012年からベトナムに進出しましたが、その際JICAの中小企業海外展開支援事業スキームを活用させて頂いた事が大きなきっかけとなりました。今後東南アジアを中心に、今回視察したインドまで事業拡大していく事を目標に取り組んでまいります。またインドでの事業展開の際にはJICA支援スキームの活用を是非検討したいと思います。



テーマ 「青年海外協力隊の活動を知る」

視察先 アーシャディーブ・ファンデーション、
 ムニ・インターナショナルスクール
 株式会社MONI (富山市) 代表取締役 長井 弘仁 さん

インドで青年海外協力隊の看護師として活動する小泉隊員の配属先の環境は日本では想像もできない所でした。そんな中、アーシャディーブ・ファンデーションの存在と小泉隊員の細やかな活動が、そこに住む人達に大きく役立つ活動だと感じました。太田隊員の日本語教育も日本の小学校から高校に相当する1年生から12年生までのクラスの子供達の吸収力の高さを感じました。両隊員の教え子の中から将来、日本で学んでくれる学生や、日本に導く役を担うボランティア経験者を当社で募集したいと思えます。



生田 エリさん



山本 小百合さん



石川県立看護大学で高齢者福祉について学ぶ

日系人研修員にインタビュー!!

今回は、来日3度目の生田エリさん(ブラジル)、幼少期からアニメ「サザエさん」を見ていたという、来日2度目の山本小百合さん(パラグアイ)のお2人にインタビューしました。



県立看護大学の前で

Q1 日系人の方は生粋のブラジル・パラグアイ人と比べると真面目だと言われているようですが、ご自身ではどう思いますか?

生田エリさん 小さい時に日系3世のため周囲から“ジャポナーゼ”とからかわれ、とても嫌な思いをしたこともありましたが、大学受験の時に競争率が激しいことから、日系人が受験しないと合格者の席がひとつ空く、と言われるくらい日系人は勤勉で優秀だと思われていました。その頃からだんだん自分に自信がついていきました。



開講式の様子

山本小百合さん

パラグアイでは、待ち合わせの時に1時間遅刻をするのが当たり前で、わたしは時間通りに到着するので、そういうきちんとしているところが日本人ばいと思います。

Q2 これから看護大で研修するにあたり、何を期待しますか?

生田エリさん 保健師として、高齢者社会のために何をすれば経済的・文化的により豊かになるかを勉強したいです。

山本小百合さん 今回の研修先はパラグアイより、パラグアイの高齢者社会について詳しいんじゃないか?と思う大学なので、理学療法士として帰国後役にたつことをたくさん学びたいです。

Q3 今回のJICA研修で学んだことを自国でどのように生かしたいですか?

生田エリさん まず、高齢者の数や健康状態のデータを集めたいです。そして、高齢者サロンを教会で開いたり、介護者同士が苦しみを共有する場所をつくりたいです。

山本小百合さん 筋力や心身の機能低下を確認するチェックリストを広めて、介護予防の啓発につなげたいです。

ワールドレポート in 北陸 開催報告

「海外ビジネス展開とグローバル人材育成」をテーマに8月10日金沢で開催!

第一部では、インド調査団参加企業より現地の最新情報と進出のポイントなどを報告。続いてトークショーでは、会宝産業(金沢市)より世界での環境・リサイクル活動について紹介。第二部ではJICA帰国ボランティアより、任地での2年間の活動での苦労話や印象深いエピソード、試行錯誤した取り組みなどを紹介。そして第三部では、石川県地域おこし協力隊と移住・定住事業、また輪島KABULETによる輪島の活性化の取り組みや、地域が直面する問題などを紹介。当日は50名以上の参加があり、交流会も大いに盛り上がりました!



青年海外協力隊員 現地からの声



今回は、グアテマラで野球隊員として活躍中の山名 輔さん(福井県出身)

グアテマラという国は中米の一番北に位置しており、メキシコの下にあります。中米ということで暑いイメージがありますがグアテマラという国は、国内で標高が東側と西側で約0m~3000mと違うので様々な気候があります。

自分は、グアテマラ第2の都市があるケツァルテンANGOという県で活動しています。標高が2500m位の高地にあるので寒いときは5℃位まで気温が下がります。そこで、毎日子供たち(13~18歳)に野球の指導をしています。また、技術指導だけでなく、日本の文化である「規律」「礼儀」を野球を通して教えています。こちらの環境などにも慣れ、毎日子供たちと楽しく、また時に厳しく接しながら充実した毎日を送っています。



フィリピン・パンタヤン島で 草の根技術協力事業 漁村の女性を支援します!!

フィリピン・セブ州北部のパンタヤン島は、2013年11月の台風ヨランダの被害を受けた地域です。漁村の住民は台風により、生活が極めて苦しくなりました。北陸学院大学とJICAは、台風で被害を受けた漁村の女性グループの生計向上と防災教育の推進を目的に、草の根技術協力事業「台風ヨランダからの集落復興と持続のための防災コミュニティ育成支援事業」を開始します。



民間連携事業からの HOTなニュース!!

石川発、排水処理技術をモロッコへ!

2016年度第1回「案件化調査」において、アムズ(金沢市)が提案する「油脂分解菌浄化システムの導入によるオリーブ搾油果汁廃液の汚染力低減に関する案件化調査」が採択されました!

